



らくびお 楽Bio通信

2022年
3月号

NS乳酸菌革命記

私たちは絶滅危惧種を見つけて、保護しようとしています。それが人間の使命であり責任である、といった方がよくされますが、この考えは少しおかしいと私は思っています。なぜなら、いま一番の絶滅危惧種は人類だからです。

動物は人間よりも頭脳は発達していませんが、彼らの共生的な生き方は、大自然のシステムに即した賢いものです。哺乳類動物としての人間も同じなのですが、人類は菌と深く共生しながら、とかくその事実を忘れます。

動物は、こうしてもよいかどうか、自分の本能で判断します。しかし人間は、よいかどうか本能からの判断をしなくなりました。間違った知識で判断したり、迷ったら友だちに聞くかインターネットで調べて、あるいは占って決めます。すると、してはいけないことをして、食べてはいけないものを食べて、その結果、いろいろな問題が起こってしまいます。

抗生物質の多様や極端な殺菌・抗菌は、その表れでもあります。いま必要なことは、生命共生の事実に目覚め、人間にとって大切な有用菌を、

積極的に摂り入れる努力をすることです。それは難しいことではありません。乳酸菌に代表されるよい菌を摂取することが、まず第一に挙げられます。それから、食生活をあらためる。加工食品を少なくして、できるだけ多種類の食品をバランスよく食べ、食べすぎに気を付けることです。

清潔志向をあらためることも大切です。日本人は昔から、きれい好きで世界に知られてきました。幕末に日本を訪問した外国人は、口々にそのことをいっています。日本人のよい点の一つですが、現在はどう考えても過剰になっています。

日本の女性に、子宮筋腫が増えています。子宮筋腫はウイルス感染によるものですが、じつは、感染率の推移と生理用品の普及率が関連しているのです。これはつまり、こういうことがいえるのではないのでしょうか。

いまの生理用品には殺菌剤・抗菌剤が入っています。それらが含まれた生理用品で膣の入り口をガードすると、生殖道である膣や子宮口では、有機酸がつくれる乳酸菌が死んでしまいます。するとペーハーが上がっていき（酸度が弱くなり）、無防備な状況になるわけです。その結果、子宮頸がんの原因になるHPVウィ

ルスの侵入を防げなくなってしまうのです。

日本では春になると、マスクで町を歩く人が目立ちます。スギ花粉症対策です。昭和時代と平成時代で、花粉症患者は三割増えたといえます。菌の足りない清潔な環境をつくった代わりに、花粉症という新しい病気をもらったわけです。

あと一つ、有用菌を摂り入れるにあたって、注意しなければならぬ大切なことがあります。それは抗生物質と添加物から、できるだけ離れることです。その理由は、いままで申し上げてきたとおりです。

ただ、現代人のライフスタイルから、すべてをきちんと守るのは、やっぱり大変なことでしょう。病気になるって病院へ行けば、抗生物質を処方されても、事実上拒否はできません。食品添加物を避けたくても、ハムやソーセージ、インスタント食品などを食べれば、相当な食品添加物を摂取してしまいます。

そこで提案です。それは乳酸菌を日常的に摂取する習慣をつけることです。菌と共生して彼らと良い関係を保つには、それが一番有益な方法といえます。

「NS乳酸菌が病気を防ぐより抜粋」



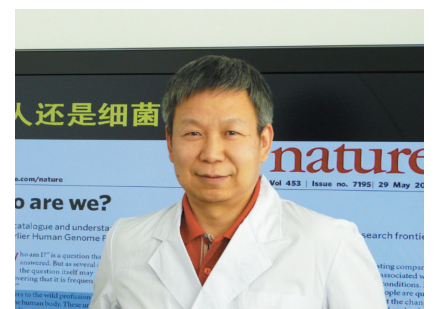
雄大な大地と湖
撮影：西村幹也（NPO 法人しゃがあ）



『乳酸菌革命』
(評言社刊)



『NS 乳酸菌が病気を防ぐ』
(PHP 研究所刊)



NS 乳酸菌の研究者、金鋒博士



旧の粒を起床時に飲む。
3週間くらい。
お腹をよく壊していたのですが、飲みはじめから
だいぶ良くなりました。
腸の調子の改善が実感できたのでこれから続けようと思います。
ありがとうございます。

40代・女性・愛知県在住

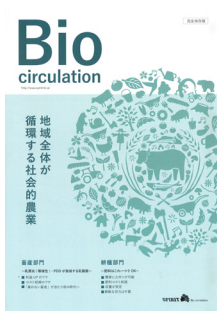
※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

5年前に悪性リンパ腫の検査と
診断を受けた。抗がん剤と共に乳酸菌を
摂るようになった。
今は自宅で療養しておりますが、お蔭で
生かされております。(ツエはついでの手術ですが、食欲も
あり穏やかに暮らしております。)
今は乳酸菌のお陰で悪性リンパ腫と出会ったこと
を、院長を通じて、素晴らしい乳酸菌に出会えたこと
本当に有難く思っております。今後ともよろしくお願いします。

30代・女性・岐阜県在住

「大草原の乳酸菌」 お客様の声

NS乳酸菌は人間用・ペット用サプリメントとして好評ですが、現在では畜産分野でも活躍しています。畜産部門では(株)スピリット・(株)Kogaoが協力し合い、NS乳酸菌を広く使っています。牛にNS乳酸菌を与えることで良い糞をつくり、それが良い発酵を促し堆肥になり、農作物にとって大切な有機肥料になります。両社は、畜産業と耕種農業の常識を変える取り組みを推進しており、畜産堆肥が環境問題を解決すると同時に養分を含むハイクオリティな有機肥料になると言っています。



「Bio circulation」
～社会的農業 LABO～」

畜産で活躍



「TV ホスピタル」
(2022年2月号)
大草原の乳酸菌の記事が掲載されました。

メディア掲載



ます。
堆肥と聞くと悪臭というイメージがありますが、NS乳酸菌を摂取した家畜から生産される堆肥はまったく悪臭がありません。微生物が良い循環を生み出している証拠です。
導入後の牧場経営者の方々の感想は「獣医も驚く程に、乳房炎が発生しません」「全国平均を大幅に上回る繁殖実績」「NS乳酸菌導入してから特に、蹄病が無くなりました」などの声が上がっています。NS乳酸菌が人やペットのフローラを整えるだけでなく、畜産分野においても好循環を実証しています。そのうち「NS乳酸菌で育てた」というブランドの牛乳や牛肉・豚肉・鶏肉が、お近くのスーパーに並ぶ日はそう遠くないかもしれません。

しゃがあの 日蒙文化交流支援

ラクアが支援している
日蒙文化交流活動です。
賛助会員を募集しております。



バンベンの 砂漠緑化支援

ラクアが支援している
モンゴル地方の
植林活動です。



NS乳酸菌で 良質な堆肥づくり

岐阜県高山市で NS 乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)スピリットが推進する持続可能な社会的農業を応援しています。



笑顔プロジェクトで 子ども食堂支援

笑顔の自画像イラストを作成することで、作成費用の一部が「子ども食堂食材支援」に使用されます。ぜひ笑顔プロジェクトにご参加ください。



■ 電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-098-529

※受付時間／9:00～21:00 (土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



大草原の乳酸菌



楽Bio通信